

法人税 確定申告書（ 年分・平成〇〇年〇月〇日 事業年度分・ ）に係る

平成△△年△月△日

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面

33の2①

		※整理番号				
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称	税理士 国税 太郎 ⑩				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
書面作成に 係る税理士	氏 名	税理士 国税 太郎 ⑩				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
	所属税理士会等	東京 税理士会 〇〇 支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号				
税務代理権限証書の提出		<input checked="" type="checkbox"/> (法人税・消費税) ・ 無				
依 頼 者	氏名又は名称	株式会社 〇〇商事 代表取締役 〇〇 一郎				
	住所又は事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
私（当法人）が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。						
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項						
帳簿書類の名称		作成記入の基礎となった書類等				
仕訳帳		期末決算整理事項のみ				
総勘定元帳、貸借対照表		会計リーフによるコンピュータ処理				
損益計算書		〃				
勘定科目明細書		〃				
固定資産台帳		〃				
2 提示を受けた帳簿書類（備考欄の帳簿書類を除く。）に記載されている事項						
帳簿書類の名称		備 考				
現金出納帳、預金通帳、受取手形記入帳、 工事未収入金台帳、外注台帳、 給与支払明細書、工事原価台帳						
※事務 処理欄	部門	業種	意見聴取連絡事績		事前通知等事績	
			年月日	税理士名	通知年月日	予定年月日
			・ ・		・ ・	・ ・

※整理番号

3 計算し、整理した主な事項	
区分	事項
(1) 完成工事高	工事台帳及び請求一覧表に基づき、引渡し の事実を質問し完成工事基準により収益が 計上されているかどうかを確認した。
外注費	請求書、領収書、外注台帳、工事原価台帳 により外注額を把握し、翌期分の外注が当期 に計上されていないかを検討した。
期末仕掛品・ 棚卸高	工事台帳に基づき、仕掛工事に係る直接費 を集計し、これに係る間接費の按分計算を行 った。
保険積立金	保険証券等で確認し、金額可否を検討。
(1)のうち顕著な増減事項	増 減 理 由
完成工事高	㈱X、㈱Y、㈱Z等からの大型工事が受注できたことか ら、前期比〇%増収となっている。
賃金給料	受注拡大により、工事管理のできる人材の増員を行った ことから労務費が〇%アップしている。
消耗品費	I T化を推進するためにパソコンの増設を行ったことか ら消耗品費（一括償却資産については別表加算）が増加し ている。
(1)のうち会計処理方法 に変更等があった事項	変 更 等 の 理 由
(3)	工事台帳に基づき、仕掛工事 に係る直接費を集計し、さら にこれに係る間接費の按分計 算を行っていることから、調 査省略等の参考となる。

工事台帳及び請求一覧に基づいて、引渡しの事実を確認していること、さらに完成工事基準により収益が計上されているかを検討・確認している旨の記載があり、調査省略等の参考となる。

当法人は、外注費比率が高く重要検討事項であるが、請求書・領収書等により外注費額を把握し、翌期分の外注費が当期に計上されていないかを税理士が検討・確認しており、調査省略等の参考となる。

※整理番号

4 相談に応じた事項	
事 項	相 談 の 要 旨
土地、建物、保証金等	B社のリゾートクラブ使用权を購入したことに伴い、会計処理について助言した。
	具体的な資産の購入に係る会計処理について助言しており、調査省略等の参考となる。
5 その他	
<p>A社の申告書作成に当たり、A社の会計処理及び記帳は正確に処理されているものと認め、法令及び通達の規定に従って申告書を作成したものである。</p> <p>また、A社は、決算及び申告書の作成に関する税理士の求めに応じて、すべての資料を提出しており、この申告書は適正な申告であるものと認められる。</p>	